令和6年度第2回浜田市国民健康保険運営協議会 会議録

1 日 時 令和7年2月13日(木) 13時30分から14時20分まで

2 場 所 浜田市役所 4階 講堂 ABC

3 浜田市国民健康保険運営協議会委員

(1) 出席者

13名

(2) 欠席者

4名

4 事務局

〔健康福祉部〕	健康福祉部長
〔健康福祉部保険年金課〕	保険年金課長、国保係長、賦課給付係長
〔健康福祉部健康医療対策課〕	健康医療対策課長、健康増進担当課長、 地域医療担当課長、地域医療対策係長
〔市民生活部税務課〕	税務課長、収納係長
〔支所市民福祉課〕	金城市民福祉課長、旭市民福祉課長、 弥栄市民福祉課長、三隅市民福祉課長

5 議題

(1) 報告事項

報告第1号 令和5年度浜田市国民健康保険特別会計決算について

報告第2号 令和6年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

報告第3号 令和6年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

(2) 協議事項

諮問第1号 令和6年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)案について

諮問第2号 令和7年度浜田市国民健康保険特別会計当初予算案について

6 進行表

【令和6年度第2回浜田市国民健康保険運営協議会 13時30分 開会】

事務局

失礼いたします。

皆様、本日は大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

ご案内しております時間になりましたので、ただ今から、令和6年度第2回浜田市国民健康保険運営協議会を始めさせていただきます。

私は、保険年金課長と申します。どうぞよろしく願いいたします。ここからは着席にて進行させていただきます。

それでは始めに、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

まず、事前に皆様にお送りしている資料が4点ございます。議案、参考資料1、参考資料2、「令和6年度版 統計でみる島根の国保」となります。お手元にお持ちでない場合は、事務局からお配りしますので、お知らせください。皆様、お手元にごございますでしょうか。

それでは、会議を進めさせていただきます。

まず、初めに、本日の委員の皆様方の出席状況について報告させていただきます。議案の2ページが委員名簿となっておりますので、ご覧ください。

本日、事前にご欠席のご連絡をいただいている委員様は4名で、全委員17名中13名のご出席でございます。

議案の左側、1ページの次第をご覧ください。1番の会の成立宣言ですが、浜田市国民健康保険条例施行規則第5条の規定により、委員の2分の1以上の出席があり、かつ、被保険者、医薬、公益の代表からそれぞれ1名以上の出席がございますので、本日の会議が成立しておりますことをご報告いたします。

続きまして、次第2番の市長挨拶でございます。本日、市長は他公務のため、健康福祉部長が代わってご挨拶申し上げます。

事務局

失礼いたします。先ほどありましたように、市長が他の公務で出かけておりますので、私の方でご挨拶申し上げます。

令和6年度第2回浜田市国民健康保険運営協議会市長挨拶

令和6年度第2回浜田市国民健康保険運営協議会の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆様におかれましては、平素から本市の国民健康保険事業の運営に対しまして、格別のご支援とご指導を賜り、厚くお礼を申し上げます。

また、本日はご多忙にもかかわらずお集まりいただき、誠にありがとうございます。

さて、国民健康保険を取り巻く状況といたしましては、団塊世代の後期高齢者移行、社会保険の適用拡大などにより、被保険者数が減少傾向にあるところですが、医療の高度化などにより1人当たりの医療費は増加傾向となっております。

また、来年度は、高額療養費の自己負担限度額の引き上げなど、健康保険全体での大きな改正が見込まれております。

本日の運営協議会におきましては、令和7年3月浜田市議会に提出を予定しております令和6年度補正予算と令和7年度当初予算について、皆様に忌憚のないご意見を伺いたいと考えております。

内容につきましては、後ほど担当者からご説明申し上げますので、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年2月13日

浜田市長 久保田 章市

代読

事務局

続きまして、次第3番目の会長挨拶です。会長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

会長

皆さま、寒さの厳しい中、大変お疲れ様です。

本日の会議の内容は、国保事業勘定と直営診療施設勘定の前年度決算及び今年度補正予算の報告、新年度当初予算の審議であります。皆さま、気軽に忌憚のない意見をお出しいただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

以上、簡単ですが最初の挨拶に代えさせていただきます。

事務局

ありがとうございました。それでは、次第4番目、市長諮問でございます。

議案の3ページに諮問書がございます。

今回の諮問事項につきましては、

「令和6年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案について」と、「令和7年度浜田市国民健康保険特別会計当初予算案について」でございます。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

続きまして、次第5番目、議事録署名委員の指名でございますが、ここからの進行につきましては、会長にお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

会長

それでは、これより私の方で進めさせていただきます。

議事録署名委員につきましては、私から指名をさせていただきます。

医薬代表から、委員。被保険者代表から、委員。

お二人にお願いいたしますのでよろしく願いいたします。

続いて、議題に入らせていただきます。

令和5年度浜田市国民健康保険特別会計決算、令和6年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算の報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局

失礼します。国保係長です。よろしく願いいたします。

それでは、失礼ではありますが、座って説明させていただきます。

まず始めに議案の 5 ページ、6 ページをご覧ください。報告第 1 号です。

令和 5 年度浜田市国民健康保険特別会計決算をご報告いたします。

前年度の決算につきましては、昨年 5 月に開催しました第 1 回の運営協議会にて 4 月末時点の見込額をご報告いたしました。こちらには、事業勘定と直診勘定の決算確定額を掲載しております。

いずれも決算見込額と大きな差はございませんが、事業勘定について、報告後に入金確認された保険料収入があったことなどから、5 ページの一番下、収支差引額、つまり決算剰余金が見込額より約 530 万円多い 729 万 2,771 円となりました。

続きまして、議案の 7 ページをご覧ください。令和 6 年 9 月議会に上程し、可決いただいた報告第 2 号です。

今年度の浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）についてご報告いたします。

事業勘定につきましては、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ 3,453 万円を増額し、総額 55 億 6,394 万 8 千円としたものです。

内容は、昨年度の保険給付費に対する交付金についての給付費の確定に伴う精算、昨年度の決算剰余金についての浜田市国民健康保険財政調整基金条例第 2 条の規定に基づく 2 分の 1 以上の金額の積立実施、自治体情報システム標準化対応に係る経費の調整です。

なお、直診勘定につきましては、第 1 号補正はございませんでした。

続きまして、議案の 8 ページをご覧ください。令和 6 年 12 月議会に上程し、可決いただいた報告第 3 号です。

今年度の浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）についてご報告いたします。

事業勘定につきましては、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ 1,319 万円を減額し、総額 55 億 5,075 万 8 千円としたものです。

内容は、給与改定及び人事異動等に伴う人件費の調整です。

続きまして議案の 9 ページをご覧ください。

直診勘定につきましては、歳入歳出予算の総額から歳出歳入それぞれ 472 万 4 千円を増額し、総額 2 億 9,691 万 6 千円としたものです。

こちらも内容は、給与改定及び人事異動等に伴う人件費の調整です。

なお、補正予算につきましては昨年の 9 月議会及び 12 月議会にて提案し、成立していることをご報告いたします。

会長

報告事項として、令和 5 年度浜田市国民健康保険特別会計決算と令和 6 年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算の説明がございました。ご質問、ご意見があればよろしくお願いたします。

なお、発言の際にはマイクをお持ちしますので挙手をお願いします。

はい、どうぞ。

会長

よろしいでしょうか。

他にございませんか。

各委員

「はい。」の声

会長

はい。それでは、そのほかにご質疑、ご意見もないようでございますので、続いて協議事項へ移らせていただきます。

諮問第1号、令和6年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案について、事務局から説明をお願いします。

事務局

はい、それでは議案の11ページをご覧ください。令和7年3月議会に上程する予定の補正予算案です。

諮問第1号、令和6年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案について、ご説明いたします。

事業勘定につきまして、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2億5,505万8千円を増額し、総額58億581万6千円とするものです。

内容は、保険給付費の調整、事業費納付金の確定に伴う調整、保健事業の不要の調整、利子の積立に伴う調整、直営診療施設運営費の調整です。

保険給付費につきましては、医療費が見込みを上回ったことにより増額しております。

なお、保険給付費はすべて県からの交付金で賄われるため、この補正により、保険料に影響を及ぼすことはありません。

以上が事業勘定の補正予算の概要でございます。

続きまして、直診勘定の補正予算案も私の方からご説明いたします。議案の12ページをご覧ください。

直診勘定につきまして、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2,290万5千円を減額し、総額2億7,401万1千円とするものです。

こちらは、主に総務費の会計年度任用職員報酬等が見込みを下回ったため、不要額の調整を行うものです。

以上が直診勘定の補正予算の概要でございます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

会長

諮問第1号につきまして、補正予算案の説明がございました。ご質問、ご意見があればよろしく願いいたします。

はい、どうぞ。

委員

直診勘定について聞きたい点があります。総務費で減額補正ということで、会計年度職員の減に伴うという説明がございましたが、どういった理由でしょうか。

会長

はい、事務局をお願いします。

事務局

失礼します。地域医療対策係長と申します。よろしく申し上げます。座って失礼します。

ご質問の、会計年度任用職員の報酬見込みが下回ったことについて、ご説明いたします。

一昨年の当初予算要求の際には、パート医師の雇用を予定していました。また、専攻医といひまして、医者になられて3年目から5年目の研修をされる先生の雇用を見込んでおり、その経費を1年間分計上しておりました。

実際、今年度に入りまして、パート医師については、調整がつかなかったということで、そちらについて減額したということと、専攻医につきましても、10月から来ていただく話となりましたので、半年分が不要となり減額をいたしました。

パート医師の雇用ができなかった点につきましては、県や大学から派遣をいただいて補充をしたというところで、診療に対しての影響は、最低限に抑えられたと考えております。

委員

わかりました。以上です。ありがとうございました。

会長

よろしいでしょうか。他にございませんか。

はい。それでは、そのほかにご質疑、ご意見もないようでございますので、諮問第1号、令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案につきましては、提案どおり決定をいたします。よろしいでしょうか。

はい、どうぞ。

各委員

「はい。」の声

会長

はい。それでは、続いて諮問第2号、令和7年度浜田市国民健康保険特別会計当初予算案について、事務局から説明をお願いします。

事務局

はい、それでは議案の13ページをご覧ください。令和7年3月議会に上程する予定の当初予算案です。

諮問第2号、令和7年度浜田市国民健康保険特別会計当初予算案について、ご説明いたします。

事業勘定の令和7年度歳入歳出予算はそれぞれ総額57億4,154万8千円を計上しております。続いて14ページをご覧ください。直営診療施設勘定の令和7年度歳入歳出予算はそれぞれ総額2億9,553万4千円を計上しております。

次に15ページをご覧ください。令和7年度当初予算の編成概要を掲載しております。

次に16ページをご覧ください。事業勘定の概要になります。

令和6年度当初予算と比較して増額となった主な要因は、歳出における保険給付費が増額となったことです。

続きまして、17ページをご覧ください。歳入について主なところをご説明いたします。

国民健康保険料7億7,518万8千円は、国保事業費納付金と納付金の対象となっていない経費を加えた額から、浜田市に直接入る予定の補助金などを除いた額を推計し、収納率を割り戻すことにより計上しております。なお、こちらは県の仮算定による事業費納付金により算

出しており、本算定による令和7年度の保険料率は、5月に予定しています。次回の運営協議会において諮問し、保険料率を確定することとなります。これまでの保険料率の推移及び財政調整基金の状況等につきましては、参考資料1の3ページから8ページに掲載しております。後ほどご確認ください。

次に議案18ページをご覧ください。

国庫支出金につきましては、災害やシステム改修等に係る臨時的な経費のみが対象となります。令和6年度、令和7年度ともに当初予算での計上はありません。

次に、下の県支出金です。保険給付費等交付金のうち、普通交付金は、保険給付費の全額が交付されるもので、特別交付金は、市町村の特別事情や実績に応じて交付されるものです。

次に19ページをご覧ください。こちらに繰入金の内訳がございいます。

保険料の軽減などの基盤安定制度、職員人件費や国保事務費、出産育児一時金の2/3、財政安定化支援事業といった法律に定められた繰入金のほか、国保被保険者のみに限定されない浜田市の政策的な繰入金として、独自に医療費助成を行うことによる国・県の補助金カット分、保健事業分、直営診療施設への運営費補助などを計上しております。「デジタル基盤改革支援事業繰入金」は国民健康保険に係るシステム更改のための補助金を繰り入れるためのものです。

次に20ページをご覧ください。歳出につきましても主なところをご説明いたします。

総務費につきましては、国保システム更改に係る経費や、保健事業関連事業外部委託に係る経費を計上したことを主な理由として、2,262万9千円の増額となっております。

下の保険給付費につきましては、医療の高度化などにより、1人当たりの医療費が増加傾向にあるため、前年度当初予算と比較して1億3,675万6千円の増額となっております。

保険給付費につきましては、1人あたりの医療費の資料として、「統計でみる島根の国保」の8ページ、9ページをご覧ください。うち9ページの令和5年度の実績において、浜田市は県内で19市町村中、上から8番目に高い数値となっております。また、参考資料1の16ページをご覧ください。こちらは、令和6年度上半期の一人あたり医療費の速報値であり、県内で5番目に高い状況でございいます。

次に議案の21ページをご覧ください。

国保事業費納付金です。令和6年11月に、島根県から仮係数に基づく事業費納付金額が通知されたため、その額を予算計上しております。

なお、令和7年1月下旬に島根県から確定係数に基づく事業費納付金額が通知されましたが、予算編成スケジュール上、当初予算額に反映することができなかつたため、令和7年度補正予算の計上により増減の調整を行う予定です。

納付金の計算方法についてご説明いたしますので、参考資料2をご覧ください。

ここでの数値はすべて確定係数に基づくものとなります。

参考資料2の1ページは、納付金の概況について1枚にまとめたものです。上の表の中央に「令和7年度1人当たり保険料収納必要額(A)」とありますが、これは標準保険料率により算出した医療分、支援金分、介護分の保険料を合計したものとなります。標準保険料率とは、県が市の歳出や歳入、被保険者数や所得の見込みを算出し、国が定めた方法に基づき算出した参考数値であり、令和7年度の浜田市の一人当たりの保険料がこのとおりになるというものではありません。

右の2ページは、一般被保険者の医療分について、納付金がどのように決まったかをまとめた図を掲載しております。

まず、島根県全体の保険給付費がいくらになるのかを推計した結果、約492億1千万円と

になりましたので、そこから島根県に入る公費を除いた額が事業費納付金の算定基礎額約 111 億 5 千万円となります。その額を、医療費や所得水準、被保険者構成を基に市町村ごとの納付金に按分します。

参考資料 2 の 3 ページは一般被保険者の医療分について、納付金が決定するまで、また標準保険料率が算出されるまでを各ステップに分けて掲載しています。資料の中でマイナスとなっているものは納付金が減る要素、プラスとなっているものは納付金が増える要素であるとお考えください。

下の 4 ページの、一般被保険者の後期高齢者支援金分、また、1 枚捲っていただきまして 6 ページの介護納付金分につきましても、基本的には同様の考え方で事業費納付金が算出されていますが、医療分と異なる点がございませう。県全体の事業費納付金を市町村ごとに按分する際、医療分のように、医療費水準の高い低いに納付金額の高い低いに影響しないようになっております。

それでは、議案の 21 ページに戻ります。下の保健事業につきましても、特定健康診査、特定保健指導事業に係る事業費、脳ドック及び人間ドック等に係る保健衛生普及費、医療費通知や後発医薬品利用促進などの医療費適正化事業等に係る経費を計上しております。

各事業のうち、①の特定健診・保健指導事業につきましては、平成 30 年度から健診の自己負担を無料としており、令和 7 年度も引き続き無料とする予定です。この事業の予算額が前年度と比較して 846 万円の増額となっているのは、特定健診受診率及び特定保健指導利用率向上を目的として新たに委託事業を実施する予定となっているためです。なお、この新事業に係る経費は全額補助対象となるため、保険料への影響はありません。

②の保健衛生普及費につきましては、被保険者数の減少に伴う脳ドック・人間ドックの定員縮小によるものです。

③の医療費適正化事業につきましては、昨年度に引き続き、糖尿病性腎症の重症化予防対策事業として、医療機関とも協力しながら、対象となる方に対しての指導を進めてまいります。島根県の栄養士会といった地元の団体の協力をいただきつつ、市の保健師・栄養士のスキルアップを図りながら、生活習慣病に係る医療費の適正化に向けた取組みを続けます。

次に、22 ページをご覧ください。事業勘定の主な歳入歳出につきまして円グラフを載せております。

以上が、事業勘定の概要となります。

事務局

失礼します。地域医療対策係長です。よろしくお願ひいたします。

それでは、失礼ではありますうが、座って説明させていただきます。

続きまして、直営診療施設勘定の概要についてご説明いたします。議案の 23 ページをご覧ください。

令和 7 年度の当初予算額は、歳入歳出それぞれ、総額 2 億 9,553 万 4 千円で、令和 6 年度の当初予算額と比較して、334 万 2 千円の増額となっております。増額となった主な要因は、歳出における医業費の増額によるものです。

歳入につきましては、診療収入および県支出金を増額とし、繰入金は減額としております。診療収入は令和 5 年度及び令和 6 年度上期の実績からの推計であり、県支出金は、50 万円を超える医療機器購入に対しての県補助金ですが、来年度は機器更新が増えたことによる収入の増を見込んでおります。

歳出につきましては、総務費は減額としておりますが、医業費は増額としております。

続きまして、右の 24 ページをご覧ください。歳入、歳出について主なところをご説明いたします。始めに、歳入の診療収入につきまして、外来収入は、令和 5 年度及び令和 6 年度上期の実績をもとに国民健康保険診療報酬及びその他の診療報酬収入を減額としておりますが、その他は増額としております。その他の診療収入につきましては、これまで定期受診されていた後期高齢者は特定検診の対象外でしたが、令和 6 年度から受診可能となったこと、コロナの予防接種が昨年からは開始されたことから増額としております。

次に、主な歳出の内訳です。総務費の施設管理費につきまして、職員給与費は、給与改定を加味して増額としております。

施設管理事務費につきまして、医師不足を補うため、代診医の報償費を増額したこと、あさひ診療所の待合室エアコンを更新することにより、全体では増額となっております。

会計年度任用職員報酬等につきましては、医師になって 3 年目から 5 年目で専門研修プログラムを受けている専攻医の受け入れ見込みを半年としたこと、パート医師の雇用がなくなったことが主な減額要因です。

医業費につきましては、医薬衛生材料費において、患者が利用される酸素濃縮器等の医療機器のリース件数の増加及びコロナウイルスワクチン購入経費の増加による増額となっております。また、医療用機械器具費につきましては、高額医療機器の更新を予定しているため増額となっております。

診療所の運営につきましては、今後も定期的に診療所運営会議などを開催し、関係機関と連携しながら、安全で安心な医療が提供できるよう努めてまいります。

直営診療施設勘定の概要についての説明は、以上でございます。

会長

はい。事務局の説明が終わりました。それでは、諮問第 2 号 令和 7 年度当初予算につきまして、質疑、ご意見を伺います。

はい、どうぞ。

委員

21 ページの保険事業①の特定健診・保健指導事業の費用が、前年度と比べ、令和 7 年度は 846 万円の増となっております。これについては、新規委託事業を実施するためということですが、具体的にはどのような事業を実施される予定ですか。

会長

はい、事務局お願いします。

事務局

はい。今検討しているものとしては、全国の 800 以上の自治体と契約を結んでいる業者なのですが、ビッグデータを元に AI を使って傾向を分析し、その方に合った勧奨通知を送るといったものです。

委員

はい。わかりました。ありがとうございます。

会長

よろしいでしょうか。他にございませんか。

はい、どうぞ。

委員

保健事業を私も身近に感じているところです。昨年久しぶりに人間ドックに当選しましたが、定員の見直しにより減額になるというのは、受ける人があまりいないということなんでしょうか。

会長

はい、事務局お願いします。

事務局

4月に脳ドック、5月に人間ドックの募集をしています。今年度は定員割れとなったため、再々募集まで行いましたが最終的に定員割れとなりました。被保険者数の減少もありますので、希望される方が受診できるよう考慮した上で、過剰と思われる部分を減らしています。

会長

はい、どうぞ。

委員

私は喜んで受けたいと思いますけど、再々募集までするなど聞いたこともありませんが、ちょっと周知不足じゃないでしょうか。

会長

はい、事務局お願いします。

事務局

私の方からお答えいたします。先ほどの定員の説明に補足をさせていただきますと、実は昨年度、令和5年度までは脳ドックは定員を超える申込みがありました。人間ドックは医療センターの申込みは定員を超えましたが、その他の医療機関で定員を割れる状況でした。この傾向は近年続いていました。ところが、今年度は全体的に大きく応募が減りまして、例年再募集まで行っていたところですが、再々募集、通常2回までしか募集しないところを3回募集を行いました。最終的に定員割れとなりました。

広報はまだ、浜田市のホームページ、チラシ、ケーブルテレビなどで周知していますが、団塊世代の後期移行、社会保険の適用拡大、それから比較的高齢の方が仕事を持たれるようになり、社会保険に加入されていることが要因だと考えています。若い方はなかなか健診を受けられないのが現状です。

もちろん、周知は必要だと考えています。いろいろ工夫をしながら、皆さんが受けてみたいと思われるような方向に周知ができればと考えております。

会長

よろしいでしょうか。他にございませんか。

はい、どうぞ。

委員

公益代表です。細かい話ですけれども、退職者医療制度は平成 20 年に廃止となり、令和 6 年に経過措置が廃止となっています。国民健康保険料の退職被保険者分は令和 5 年度の予算では 6 万 9 千円、令和 6 年度の予算では 1 万 8 千円が計上されていましたが、令和 7 年度の予算には計上されていません。これはすべて不納欠損とするということでしょうか。

会長

はい、事務局お願いします。

事務局

賦課給付係長と申します。退職被保険者分の国民健康保険料につきましては、令和 7 年度分から予算上の費目を一般被保険者分に一本化しています。退職被保険者分をすべて不納欠損にするということではなく、今後は一般被保険者分と一体化させて管理します。

会長

よろしいでしょうか。他にございませんか。

はい。それでは、そのほかにご質疑、ご意見もないようでございますので、諮問第 2 号、令和 7 年度国民健康保険特別会計当初予算案につきましても、提案どおり決定をいたします。よろしゅうございますか。

各委員

「はい。」の声

会長

次にその他事項について、事務局からお願いします。

事務局

失礼します。賦課給付係長です。その他事項でございますが、議案の 26 ページをご覧ください。

令和 7 年度に予定されている国の制度改正に伴う市の条例改正について情報提供いたします。

まず 1 点目ですが、保険料賦課限度額の引き上げが行われます。来年度は医療分を 1 万円、後期高齢者支援金分を 2 万円引き上げ、合計で 109 万円が賦課限度額となります。

2 点目に保険料軽減基準額の引き上げです。国民健康保険料は、所得状況により 1 人あたりにかかる均等割と 1 世帯あたりにかかる平等割を軽減しています。その軽減区分のうち 2 割軽減及び 5 割軽減の対象となる所得基準額を表のとおり引き上げることで、軽減対象世帯を拡充します。なお、軽減によって保険料収入が減る部分については、保険基盤安定繰入金で財政支援されます。

以上の 2 点を踏まえた条例改正を予定しています。なお、この改正は令和 7 年度分の保険料から適用します。

また、ここからは条例改正以外の事項ですが、3 点目としまして、入院時食事代の自己負担額の引き上げです。国の法令改正により、令和 7 年 4 月分から、表のとおり引き上げとな

る予定です。最後に4点目、高額療養費の自己負担額引き上げです。こちらも国の法令改正により、令和7年8月診療分から引き上げが予定されています。70歳未満の方の限度額と、70歳以上の方の限度額をそれぞれ表にまとめておりますので、ご確認いただければと思います。

ただし、この4点目の高額療養費につきましては、すでにご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、今国会の内外で非常に紛糾しているところです。この資料の表は当初の厚生労働省案を載せておりますが、状況によっては今後変更等があると思いますので、ご承知おきください。

なお、現在報道されているところによりますと、過去12か月で4回目以降の該当になったときに限度額を下げる多数回該当という制度につきまして、7回目以降更に引き下げ、2段階にする案などが浮上していると聞いております。

私の方から、以上でございます。

会長

その他事項について事務局から説明をいただきました。ご質問等ございませんでしょうか。

会長

それでは、本日課せられました協議事項について、終了させていただくこととなります。以上をもちまして、令和6年度第2回浜田市国民健康保険運営協議会を閉会いたします。どうもありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

事務局

会長ありがとうございました。

委員の皆様も活発にご協議いただきありがとうございました。

ここで1点事務連絡をさせていただきます。令和7年度第1回の運営協議会についてですが、まだ予定の段階ではありますが、5月15日木曜日の午後を予定しております。

引き続き浜田市国民健康保険の運営にご協力、ご指導賜りますようお願い申し上げます。本日は、大変ありがとうございました。

【令和6年度第2回浜田市国民健康保険運営協議会 14時20分 閉会】